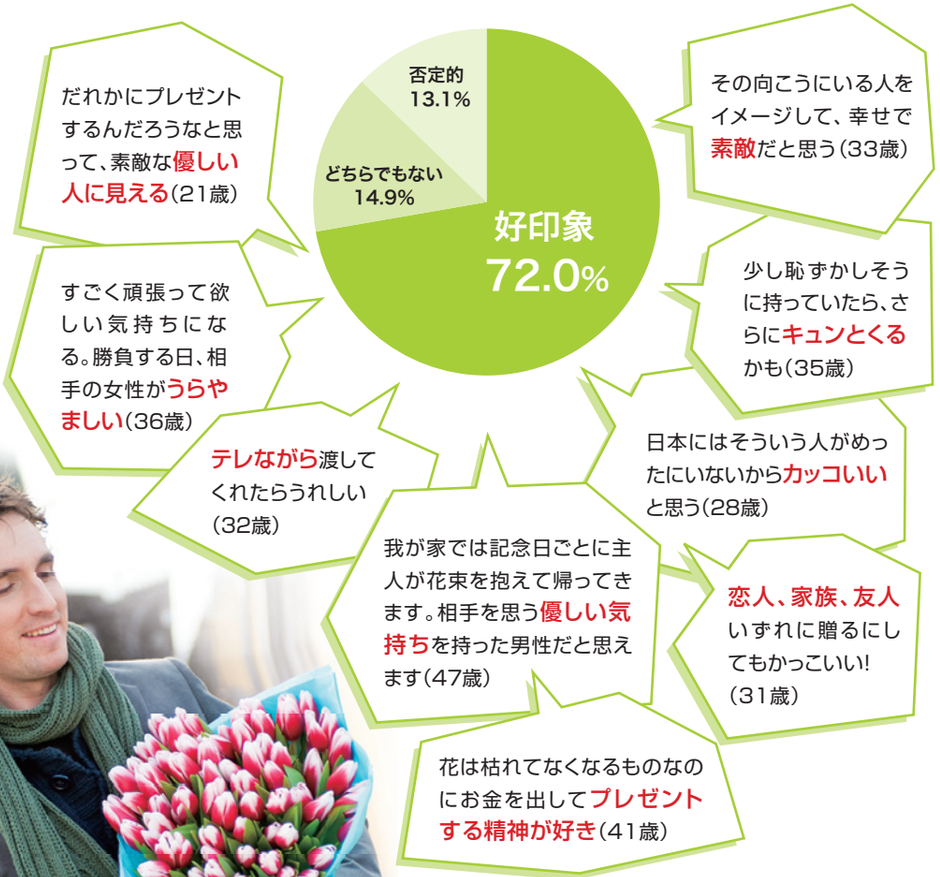
woman's voice

女性の気持ちアンケート 500人に聞きました。

花を持って歩くのはカッコいい？

Q. 花を抱えて歩く男性をどう思いますか？

「花束を持って歩くなんて恥ずかしい…」なんて古いことを思っていませんか？
今どきの女性の7割は好印象を抱いています。



フラワーバレンタイン推進委員会調べ

world topics

グローバルスタンダードな男を目指せ!

海外の花贈り事情

ヨーロッパ諸国

おみやげには花を

日本では友人宅などに訪問する際にお菓子をおみやげで持っていく人が多いですが、ヨーロッパの多くの国では花を持っていくことが多いようです。花はスマートな贈りものとされていて、男性自ら花屋で花を選ぶことも珍しくありません。

ロシア、東欧など

街中の女性の笑顔が溢れる日

ロシア、東欧、ベトナム、モンゴルなどの男性は、国際女性の日（3月8日）には、恋人や職場の同僚など、ありとあらゆる女性に花をプレゼントをしまくります。花をもらうと女性はうれしいもの。町中が笑顔が絶えない愛に満ち溢れた日となります。ちなみにイタリアでは、この日は別名「ミモザの日」と呼ばれ、男性が女性に黄色のミモザを贈ります。

スペイン

男性には本を、女性には花を

スペインのカタルーニャ地方では、サン・ジョルディの日（4月23日）に男性から女性に花を、女性から男性には本を贈る風習があります。サン・ジョルディとは中世の聖人の名前です。伝説によると…ある国の王女が龍にとらえられ、いけにえにされるところを、サン・ジョルディが現れて龍を退治して王女を救い、その時に流れた龍の血が地面に流れ、そこに美しい赤いバラが咲いたとのこと。また、この日がスペインの文豪セルバンテスの命日だったこともあり、本と花の組み合わせが始まりました。

世界

男性から女性に花を贈る2月14日

日本では、女性から男性にチョコレートで愛を伝える日とされている「バレンタインデー」。実は世界の多くの国では性別を問わず愛を伝えあう日であり、男性からは女性に花を贈り愛を伝えることが一般的です。最低でもバラ1本を用意しておかないと恋人が不機嫌になって大変なことになるとか…。